

第65回 神戸市障害者スポーツ大会実施要綱

1. 目 的

障がいのある選手が、神戸市障がい者スポーツの祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、市民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

2. 主 催

神戸市、(社福)神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター、(社福)神戸市身体障害者団体連合会、(一社)神戸市手をつなぐ育成会、神戸市身体障害者施設連盟、神戸市知的障害者施設連盟、(特非)神戸市精神障がい者家族会連合会、神戸市精神障害者社会復帰施設連盟

3. 後 援

神戸市教育委員会、(公財)神戸市スポーツ協会、(公財)神戸新聞厚生事業団

4. 主 管

神戸市卓球協会、兵庫県ボッチャ協会、神戸市水泳協会、兵庫障害者フライングディスク協会、神戸市陸上競技協会

5. 協 力

日本ボーイスカウト兵庫連盟神戸市連絡会、ガールスカウト神戸地区協議会

6. 協 賛

生活協同組合コープこうべ共済運営部

7. 開催日時・会場

競技名	開催日時	会場	備考	頁
卓球	令和8年4月19日(日) 10時30分～ (選手集合9時30分)	中央体育館	＜少雨決行＞ 大会中止の時は、障害者スポーツ振興センターホームページに掲載をします https://kobesad.jp 	4
ボッチャ (肢体不自由者)	令和8年4月26日(日) 9時30分～ (選手集合9時00分)	市民福祉スポーツセンター体育館		5
水泳	令和8年5月17日(日) 9時30分～ (選手集合9時00分)	市民福祉スポーツセンタープール		6-7
陸上競技	令和8年5月24日(日) 9時30分～ (選手集合8時30分)	ユニバー記念競技場		8-10
フライング ディスク	令和8年5月31日(日) 10時00分～ (選手集合9時30分)	しあわせの村 (多目的運動広場)		11

※ 各種競技会場案内図 P 12

8. 参加資格(令和8年4月1現在)

- (1) 神戸市内に居住または勤務し、身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療(精神通院)受給者証を所持する中学1年生以上の者。
- (2) 市内の特別支援学校または特別支援学級に在籍中の中学1年生以上の者。
- (3) 市内の障がい者施設に在籍中で中学1年生以上の者。

9. 申し込み

- (1) 申込方法 ※以下のいずれかの方法でお申込ください。

① WEB申込

障害者スポーツ振興センターホームページ(<https://kobesad.jp>)へアクセス。
申込専用ページで必要項目を入力し、申込内容を確認後、送信ボタンを押して
申込完了メールが届いたら申込完了。

② 書面での申込

申込用紙:(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター、各区・支所保健福祉課、
市身体障害者団体連合会事務局および、市手をつなぐ育成会事務局にあります。
申 込 先 : 下記 神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センターもしくは、
各区・支所保健福祉課(障害福祉担当)まで

- (2) 問い合わせ先

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1番32号 こうべ市民福祉交流センター4F
(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター
TEL (078) 271-5330 FAX (078) 271-5367
Mail: office@kobesad.jp

- (3) 申込期限:全競技 2月25日(水)～ 申込開始

- | | |
|--------------------|---------------|
| ● 卓 球 | 令和8年 3月26日(木) |
| ● ボッチャ
(肢体不自由者) | 令和8年 3月26日(木) |
| ● 水 泳 | 令和8年 4月16日(木) |
| ● 陸上競技 | 令和8年 4月23日(木) |
| ● フライングディスク | 令和8年 4月23日(木) |



障害者スポーツ振興センター・
各区・支所保健福祉課への
提出期限です。

※ 提出期限は厳守して下さい。

10. 表 彰

- (1) 入賞者の範囲は、組ごとに1位から3位までとし、メダルを贈る。
- (2) 順位決定戦は行わず、3位まで表彰する。
- (3) フライングディスクについては、1位が複数の場合、1位決定戦を行う。
- (4) ボッチャについては、各競技区分ごとに表彰を行う。

11.その他

- (1) 出場者の少ない種目については、類似した障がい条件の者が一緒に競技をすることがある。
- (2) いかなる理由があっても、参加申込者以外の出場および代理出場は認めない。
- (3) 申込みにあたっては、
医師の判断により競技参加が不適当と認められた場合、出場ができない。
- ※ 大会当日の傷害、疾病、事故等については、応急手当以外、主催者は一切の責任を負わないので、健康・安全については各自十分注意すること。
- (4) 本大会の成績は、第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」(10月23日～26日)への神戸市選手選考資料とする。(神戸市内在住者、または在校生に限る)
- ※ フライングディスクの選手選考については、アキュラシー、ディスタンス兩種目に出場した選手の記録を参考資料とする。
- (5) 出場者は、主催者が配布したゼッケン1枚を競技用の服装に付けて競技を行うこと。
ゼッケンの色は、肢体障害者を白色、視覚障害者を黄色、聴覚・言語障害者を青色、内部障害者を桃色、知的障害者を緑色、精神障害者をオレンジ色とする。
- (6) ゼッケン装着場所(卓球:背中、ボッチャ:胸または脚、陸上競技:胸、フライングディスク:胸)

全国障害者スポーツ大会で実施される競技(14競技)

- ・個人競技：陸上競技(身・知)、水泳(身・知)、アーチェリー(身)、卓球(身・知・精神)、
フライングディスク(身・知)、ボウリング(知)
個人競技においては、年齢を以下の各部に分けて競技が実施される。
 - ・身体障害者:1部(13歳～39歳)、2部(40歳以上)
 - ・知的障害者:少年(13歳～19歳)、青年(20歳～35歳)、壮年(36歳以上)
- ・団体競技：男女バスケットボール(知)、車いすバスケットボール(身)、ソフトボール(知)、サッカー(知)、
グランドソフトボール(視)、男女バレーボール(身・知・精神)、フットソフトボール(知)、ボッチャ(身)

※個人情報の取り扱いについて

1. 申込者の個人情報については、当大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、大会プログラム・記録集・障害者スポーツ振興センターのホームページには、ゼッケン番号・氏名・性別・障がい種別(身体/知的/精神)・障がい区分番号・年齢区分(部)・記録(順位)を掲載します。
2. 当大会および全国障害者スポーツ大会に出場する選手氏名・写真・映像が、神戸市社会福祉協議会ホームページ、神戸市障害者スポーツ振興センターの広報誌(ホームページ)・新聞・テレビなどで掲載や報道される場合があります。

※ 以上の点についてあらかじめご了承の上、お申し込みください。

卓 球

1. 競技区分

区分番号	障がい区分	区分番号	障がい区分	区分番号	障がい区分
1	片上肢障害	8	聴覚・言語障害	13	知的障害者少年の部
2	片下肢障害	9	車いす常用者	14	知的障害者青年の部
3	片上下肢障害	10	*1 障がい区分なし	15	知的障害者壮年の部
4	両上肢障害	11	*2 サウンドテーブルテニスA	16	精神障害者の部
5	両下肢障害	12	*3 サウンドテーブルテニスB		
6	体幹障害				
7	視覚障害				

(注) ・身体 1部=39歳以下 ・知的 少年の部=(中学生~19歳)
 2部=40歳以上 青年の部=(20歳~35歳)
 ・精神 1部=35歳以下 壮年の部=(36歳以上)
 2部=36歳以上

- ※1 障がい区分に関係なく、出場できる。
ただし、他の障がい区分で出場する場合は、出場できない。
- ※2 アイマスクまたはアイシェードを着用する。
- ※3 アイマスクを着用しない。

2. 競技方法

- (1) 競技規則は、令和8年度の全国障害者スポーツ大会競技規則および現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) 使用球は、日本卓球協会公認球とする。(白色40mmプラスチックボールを使用する)
- (3) 競技は男女別、区分番号別に行い、トーナメント方式とする。ただし、出場者数によりリーグ戦方式を行う場合がある。また、出場者が1名の場合には、他の区分の競技者を行う場合がある。
- (4) 1ゲーム11点先取の5ゲームマッチとする。ただし、知的障害者の部および精神障害者の部については、1ゲーム11点先取の3ゲームマッチとする。(サービスは2本交替で行う)
また、サウンドテーブルテニスについては、1ゲーム11点先取の3ゲームマッチとする。
(サービスは2本交替で行う)
- (5) 知的障害者の部および精神障害者の部については、各組の優勝者による決勝トーナメントを行う。(準決勝および決勝戦は、1ゲーム11点先取の3ゲームマッチとする。)
- (6) 体育館内では、必ず上履きの運動靴を使用する。(土足厳禁)
- (7) ラケットは各自で用意する。
- (8) 服装は何色であってもよい。(ただし、白色は避けること)
- (9) サウンドテーブルテニスA部の出場選手は、各自で用意したアイマスクまたはアイシェードを着用すること。

3. その他

- (1) 出場は1人1種目とする。
- (2) 選手の応援等については、観覧席から行う。

ボッチャ

1. 競技区分(肢体不自由者)

	競技区分		番号	障がい区分	競技スタイル	
					立位	座位
肢体不自由	1	切断・機能障害	1	多肢切断・両下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	○	
	2	脳原性麻痺以外で、 車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存		○
			3	第7頸髄まで残存		○
			4	第8頸髄まで残存		○
			5	多肢切断		○
			6	その他車いす		○
			7	電動車いす常用		○
	4	脳原性麻痺(脳性麻痺・脳血 管疾患・脳外傷等)	8	四肢麻痺で車いす常用または使用		○
			9	けつて移動		○
			10	片上下肢で車いす常用または、使用		○
			11	その他走不能	○	
	5	上肢障害	12	片上肢障害	○	
			13	両上肢障害	○	
		下肢障害	14	片下腿障害	○	
			15	両大腿切断または、両下肢完全	○	
		体幹障害	16	体幹障害	○	

2. 競技方法

- (1) 競技規則は、令和8年度の全国障害者スポーツ大会競技規則および本大会競技規則を適用する。
- (2) 立位・座位に分かれ、1対1の個人戦で2エンド行う。
- (3) 1エンドずつ得点を積み上げていき、2エンドの総得点で勝敗を決める。
- (4) 2エンド終了時に同点の場合は、タイブレイクで勝敗を決める。
- (5) その他競技役員の手指示に従うこと。

3. 用具

- (1) ボールは、赤色ボール6個、青色ボール6個、白色の目標球1個で構成する。
ボールの表面は、革製(人工皮革を含む)で大きさは、以下のとおりとする。
重量 275g±12g 周長 270mm±8mm
- (2) 投球補助具(ランプ)は、原則として選手が準備したものを使う。

4. その他

- (1) 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルをいう。
- (2) 座位で競技する選手(区分2～10)で投球はできるが、移動したり方向を変えたりすることが機能的に困難な者にアシストを1名、投球することが困難でランプを使用して競技する者にランプオペレーターを1名を認める。
- (3) 立位で競技する選手については、安全上の配慮から投球時以外はボックス内に椅子を準備し座位にて待機してもよい。

水 泳

1. 競技種目および障害適用表

※障がい区分等については全国障害者スポーツ大会と同じ。

※個人メドレーは、全国障害者スポーツ大会の種目にありません。神戸市大会のみです。

◎＝男女・1部・2部とも 出場できる。

1. 身体障害者の部

(1部＝39歳以下、2部＝40歳以上)

障がい区分番号・障がい名		種 目	自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー	
			25m	50m	100m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	100m	
肢体不自由	上肢	1	手部切断(片手・両手の切断)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	片前腕切断、片上肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		3	片上腕切断、片上肢完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		4	両前腕切断、両上肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		5	両上腕切断、両上肢完全 片前腕・片上腕切断		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		7	片大腿切断、片下肢完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		8	両下腿切断、両下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		9	両大腿切断、両下肢完全 片下腿・片大腿切断		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	上下肢	10	片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	体幹	12	体幹		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	車いす 原性 常用 麻痺 以外 で	13	第7頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		14	第8頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		15	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		16	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	疾患 (脳 性 麻痺 、 脳 外 傷 等) 脳 原 性 麻 痺 、 脳 血 管	17	四肢麻痺(車いす常用) 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		18	両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		19	片側障害で片上肢機能全廃		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		20	その他の片側障害で走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		21	その他		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	22	浮具使用		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
視覚障害 ※1	23	視力0から0.01まで ※2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	24	その他の視覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声、言語、そしゃく 機能障害	25	聴覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
内 部 障 害	26	内部疾患		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※1 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※2 障がい区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

2. 知的障害者の部

種 目 障がい区分(年齢区分)			自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25m	50m	100m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	100m
知的	27	知的障害（少年＝中学生～19歳）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知的	28	知的障害（青年＝20～35歳）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知的	29	知的障害（壮年＝36歳以上）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

3. 精神障害者の部

種 目 障がい区分(年齢区分)			自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25m	50m	100m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	100m
精神	30	精神障害（一部＝35歳以下）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神	31	精神障害（2部＝36歳以上）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

2. 競技方法

- (1) 競技規則は令和8年度の全国障害者スポーツ大会競技規則および現行の日本水泳連盟競技規則を適用する。
- (2) 背泳ぎ以外のスタートについては、台上、台の横から立位または座位、水中によるスタートが選択できる。
全ての選手は自己責任において飛び込みによるスタートを許可する。
ただし、飛び込みに不安のある選手はプール内からスタートできる。
- (3) 障がい区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

3. その他

- (1) 水着および水泳帽は各自で持参する。
- (2) 出場は、1人2種目までとする。
- (3) 今大会は、フリーリレーは実施しない。

陸上競技

※障がい区分等については全国障害者スポーツ大会と同じ

1. 身体障害者の部

◎=男女・1部・2部とも出場できる。(1部=39歳以下、2部=40歳以上)

障がい区分番号・障がい名		種 目													
		五 0 m	一 0 0 m	二 0 0 m	八 0 0 m	一 五 0 0 m	ス ラ ロ ー ム	走 高 跳	立 幅 跳	走 幅 跳	砲 丸 投	ソ フ ト ボ ー ル 投	ジ ャ ベ リ ン ク ス ロ ー	ビ ー ン バ ッ ク 投	
肢体不自由	1 上肢	1 手部切断、片前腕切断、片上肢不完全、片上腕切断、片上肢完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 両前腕切断、片前腕・片上腕切断、両上肢不完全	◎	◎			◎			◎	◎	◎			
		3 両上腕切断、両上肢完全	◎	◎						◎	◎	◎			
	1 下肢	4 片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
		5 片大腿切断、片下肢完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
		6 両下腿切断	◎	◎						◎		◎	◎	◎	
		7 片下腿・片大腿切断、両下肢不完全	◎							◎		◎	◎	◎	
	1 下肢	8 両大腿切断、両下肢完全										◎	◎	◎	
		9 体幹 ※1	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎
	2 車 脳 い ず 原 性 常 用 痺 、 以 外 用 で	10 第6頸髄まで残存	◎	◎						◎					◎
		11 第7頸髄まで残存		※4	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎
		12 第8頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎
		13 下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎
		14 下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎
	3 (脳 患 性 原 性 麻 痺 外 、 脳 傷 等 血 管)	15 その他車いす		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎
16 四肢麻痺で車いす使用		◎							◎					◎	
17 けって移動		◎							◎					◎	
18 片上下肢または、片上下肢で車いす使用		◎							◎					◎	
19 上肢で車いす使用		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎	
20 その他走不能												◎	◎	◎	
21 上肢に不随意運動を伴う走可能		◎	◎	◎		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4	22 その他走可能	◎	◎	◎		◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	23 電動車いす常用								◎					◎	
視覚障害 ※2	24 視力0から0.01まで ※3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
	25 その他の視覚障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声、言語、 そしやく機能障害	26 聴覚障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
内 部 障 害	27 ぼうこう又は直腸機能障害	◎									◎	◎		◎	

※1 体幹とは、頸部・胸部・腹部および腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障がい)が該当する)ただし、四肢の機能障害を伴う場合は、体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※3 障がい区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

※4 複数の障がい区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

2. 知的障害の部

区分番号	区分名	種 目												
		五 0 m	一 0 0 m	二 0 0 m	四 0 0 m	八 0 0 m	一 五 0 0 m	走 高 跳	立 幅 跳	走 幅 跳	ソ フ ト ボ ー ル 投	ジ ャ ベ リ ン ク ス ロ ー	四 × 一 0 0 m リ レ ー	
知的 28	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△

3. 精神障害の部

区分番号	区分名	種 目				
		五 0 m	一 0 0 m	立 幅 跳	走 幅 跳	ソ フ ト ボ ー ル 投
精神 29	精神障害	◎	◎	◎	◎	◎

[知的障害]

△=男女混合・年齢区分なし

◎=男女・少年の部・青年の部・壮年の部とも出場できる。

・少年の部(中学生～19歳)

・青年の部(20歳～35歳)

・壮年の部(36歳以上)

[精神障害]

◎=男女・1部・2部とも出場できる。

(1部=35歳以下、2部=36歳以上)

1. 競技用具

- (1) 個人的使用にかかるもの以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 砲丸の重量は、表のとおりとする。

表 砲丸の重量 一覧 (単位:kg)

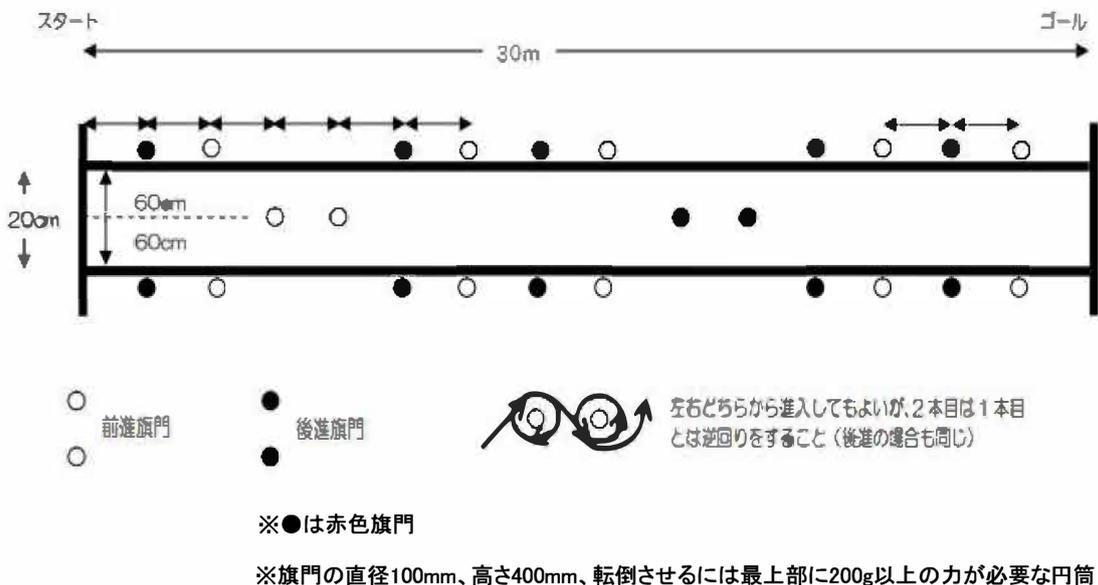
障がい区		男 子		女 子	
		1 部	2 部	1 部	2 部
肢 1	1	4	2.721	2.721	2.721
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
肢 2	12	2.721	2.721	2.721	2.721
	13	4	2.721	2.721	2.721
	14				
	15				
肢 3	19	2.721	2.721	2.721	2.721
	20				
	21				
	22				
視	24	4	2.721	2.721	2.721
	25				
聴	26	4	2.721	2.721	2.721

2. 競技方法

- (1) 競技規則は、令和8年度の全国障害者スポーツ大会競技規則および現行の日本陸上競技連盟競技規則を適用する。
- (2) 競技は組別に行う。走技は各組で行う。跳技・投技は10名以内で編成する。
- (3) 不正スタート(フライング)は1回目で失格とする。
- (4) 50m競走のスタート方法は、スタンディングスタートのみとする。スターティング・ブロックは使用できない。
- (5) 跳技・投技群の試技回数は3回とし、投技は運営上、連投もある。
- (6) 走高跳のバーの上げ方
(女子 95cmより開始、5cmきざみで上げる) (男子 1m00より開始、5cmきざみで上げる)
- (7) 区分24・25(視覚障害)走り幅跳びの踏切板の長さは1mとする。
- (8) 区分24の出場者は、各自が光を通さないアイマスクまたはアイシェードを持参し装着すること。また、招集所において、持参したアイマスク等から光が漏れないか競技役員が確認し、合格した物を装着すること。
- (9) 区分25(視覚障害)の出場者は、50・100・200・800・1500m競走において、伴走者をつけることができる。ただし、伴走用の紐は非伸縮で5cm以内のものを使用すること。また、スタートからゴールまでは紐を離さないこと。フィニッシュ時は、伴走者が先にゴールすると失格とする。
- (10) 50m競走で使用する車いすは日常生活用車いすとする。
ただし、100m競走では競技用車いす(レーサー)を使用してもよい。
- (11) 車いすで100・800・1500m競走の出場者は、ヘルメットを着用する。
- (12) 車いすで800・1500m競走の出場者は、日常生活用車いすを使用してもよい。
ただし、全国大会に出場する場合は競技用車いす(レーサー)を使用すること。
- (13) 競技に際しては、常用の補装具をできるだけ使用する。
- (14) 服装は自由であるが、なるべく運動しやすいものを着用する。スパイクの使用は差支えないが使用する場合は、9mm以下のピンとする。
- (15) 棄権者については、各施設(学校)ごと、「棄権用紙」にまとめて記入して提出すること。
- (16) スラロームについては、全国障害者スポーツ大会競技規則にしたがって実施する。
ルールおよび旗門の位置については10ページを参照

3. スラロームについて

- (1) 走路の幅は1.3m、距離は30mとする。
- (2) 所要時間によって順位を決定する。
- (3) 白色の旗門は前進、赤色の旗門は後進によって通過しなければならない。
- (4) スタートより6mの地点の旗門と18m地点の旗門の通過は次のとおりとする。
※左右どちらから侵入してもよいが、2本目は1本目と逆回りをすること。(後進も同様)
※決められた通過方法により旗門間を、通過しなければならない。
- (5) 旗門を倒した場合は、1本につき所要時間に5秒を加算する。ただし、倒した旗門に再び触れた場合は違反としない。
- (6) 通過の方法を間違えたままフィニッシュした場合は失格とする。ただし、フィニッシュラインに到達するまでならば、やり直すことができる。その場合のやり直しは、間違えた旗門より手前から行い、以後の旗門をすべて正しく通過することが求められる。また、そのすべてが所要時間に含まれる。
- (7) スラローム旗門の位置



4. 知的障害者の部 4×100mリレーについて

- (1) 出場チームは各施設・学校2チーム以内とする。
- (2) チームのメンバーは男女混合4名で編成し、補欠も含め6名までエントリーできる。
- (3) 当日、競技開始1時間前までにリレーオーダー用紙を選手招集所へ提出する。なお競技開始30分前までに、選手が集合しないチームは棄権とみなす。
- (4) リレー出場者は、出場種目に制限なく出場できる。
- (5) 出場チームが8チーム以上の場合は、組分けを行いタイムレースにより順位を決定する。
- (6) タイムレースの結果、上位3チームには楯を授与する。
また、各組ごと1位～3位チームの選手にはメダルを授与する。

5. その他

- (1) 身体障害者の部の参加者については1人2種目とする。
知的障害者及び精神障害者の部の参加者については1人1種目とする。
ただし、知的障害の部の4×100mリレーは除く。

フライングディスク

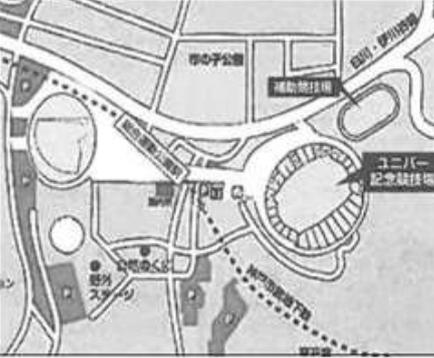
1. 競技区分

立 位	アキュラシー (デイスリート・ファイブ)	身体障害者・知的障害者・精神障害者
	ディスタンス	身体障害者・知的障害者・精神障害者

座 位	アキュラシー (デイスリート・ファイブ)	身体障害者・知的障害者・精神障害者
	ディスタンス	身体障害者・知的障害者・精神障害者

- (1) 競技方法は、令和8年度全国障害者スポーツ大会競技規則および本大会競技規則を適用する。
- (2) 競技用具の持ち込みは認めない。主催者が用意したものを使用する。
- (3) 視覚障害者・車いす使用者については、できる限り立位のスローイングラインおよびアシストライン(現行競技規則)を使用する。
- (4) 競技は組別に行う。立位・座位を区別し、10名以内の組分けで行う。
- (5) サイトは、必ずしも追い風に設置できない場合もある。
- (6) アキュラシーは、デイスリート・ファイブのみとする。
- (7) ディスタンスの有効記録範囲は、原則として芝生フィールド内とする。
- (8) 出場は、1人2種目まで(アキュラシーとディスタンス)を選択することができる。
- (9) その他、競技役員の指示に従うこと。

各種競技会場案内図

卓球		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 市営地下鉄大倉山駅より徒歩3分 ▪ JR神戸駅より徒歩10分 ▪ 高速神戸駅より徒歩5分 <p style="text-align: center;">神戸市立中央体育館</p> <p style="text-align: center;">神戸市中央区楠町4丁目1-1 TEL 341-7971 FAX 341-7974</p>
ポッチャ		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 三宮駅（JR、地下鉄、阪急、阪神）より徒歩15分 神戸市バス 7系統 市民福祉交流センター前 <p style="text-align: center;">市民福祉スポーツセンター体育館</p> <p style="text-align: center;">神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター7階 体育館 TEL 271-5332 FAX 271-5373</p>
水泳		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 三宮駅（JR、地下鉄、阪急、阪神）より徒歩15分 神戸市バス 7系統 市民福祉交流センター前 <p style="text-align: center;">市民福祉スポーツセンタープール</p> <p style="text-align: center;">神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター10階 プール TEL 271-5332 FAX 271-5373</p>
陸上競技		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 三宮から自動車で山麓バイパス経由25分 ▪ 地下鉄「総合運動公園」駅下車東へ5分 <p style="text-align: center;">ユニバー記念競技場</p> <p style="text-align: center;">神戸市須磨区緑台 TEL 793-6150 FAX 793-6159</p>
フライングディスク		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 神戸市バス 三ノ宮駅から（66系統）、 神戸駅から（150、158系統） 新長田から（17系統）、名谷から（120系統） テニスコート前下車 <p style="text-align: center;">しあわせの村（多目的運動広場）</p> <p style="text-align: center;">神戸市北区しあわせの村1-1 TEL 743-8000 FAX 743-8180</p>